

生成AI需要拡大で先高観強まる半導体関連株



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① TSMCの売上高は過去最高を更新へ

22年10月をボトムに半導体関連株の上昇基調が鮮明となっており、23年12月には半導体関連株で構成されるSOXが史上最高値を更新しました（右上図）。生成AI（人工知能）が急速に普及するなか、世界の半導体需要が底打ちし、今後回復に向かう可能性を市場が織り込みつつあることがその背景とみられます。米SIA（半導体工業会）によると、23年11月の世界の半導体売上高は約480億米ドルとなり（同図）、前年同月比で5.3%増加しました。前年同月比での増加は22年8月以来で、世界の半導体需要が戻りつつあることを示しているといえます。

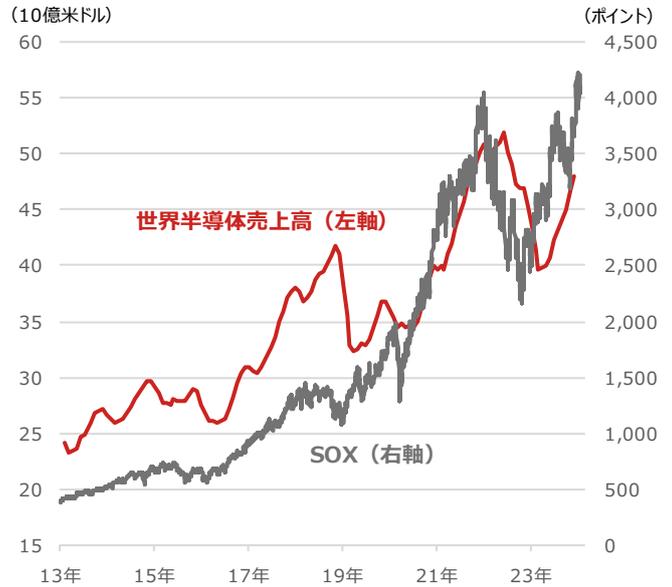
半導体受託生産世界最大手のTSMC（台湾積体電路製造）は18日に決算発表を行ない、24年の売上高見通しが米ドルベースで20%台前半の増収となる見通しを示すなど、14年ぶりの減収だった前期から一転、過去最高を更新する見込みです。

ポイント② SOXの上昇は今後も継続の公算

TSMCのCEO（最高経営責任者）は「AI関連の強い需要などを支えに、24年は当社にとって健全な成長の年となる」と述べ、業績の回復・拡大に向けて自信を示しました。

こうしたなか、SOXは23年12月につけた史上最高値の更新を窺う動きとなっています。SOXと同12ヵ月先予想EPSの動きを重ね合わせると、SOXは同EPSが上昇基調にある間は堅調に推移する傾向があります（右下図）。市場では生成AI向け半導体需要の本格的な拡大を受けて、同EPSが25年にかけて最高益を更新するとみられており、今後の業績拡大を考えると、SOXの上昇は継続する可能性が高いといえそうです。

世界半導体売上高とSOX（フィラデルフィア半導体株指数）



期間：（世界半導体売上高）2013年1月～2023年11月、月次
（SOX）2013年1月2日～2024年1月18日、日次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

SOXと同12ヵ月先予想EPS（1株当たり利益）



期間：2015年1月2日～2024年1月18日、週次
○印は2025年のBloomberg予想（2024年1月18日時点）
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

個別銘柄の記載は、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。